

2022年度上半期 豊岡市障害者自立支援協議会 運営会議 報告資料

メンバー	代 表：谷 友紀子（生活支援センターほおずき）
	委 員：山本 直（豊岡市障害者相談支援事業所）、稲津 慎也（北但広域療育センター風）、 笹谷 秀美（NPO法人ぶろじえくとPlus）、宮下 典子（NPO法人セルフサポートいずし）、 木村 尚子（一般社団法人暮らしの学校 農楽）、福田 寛子（豊岡市健康増進課）、 松田 悟（障害者基幹相談支援センター） 事務局：梶原 博和、足立 美由紀（豊岡市社会福祉課）

会 議	1回(4/26)、2回(5/24)、3回(6/21)、 4回(7/26)、5回(8/23)、6回(9/13)
-----	---

期	現状と課題	協議等の主な内容	下半期の取組方針
上半期	人材確保及び育成について ・福祉人材が不足している。 ・職員の交流や情報共有の場が少なく、悩みを軽減できる場が必要である。	・第1回研修会 7/30（土）「虐待防止・権利擁護研修」会場とオンライン同時開催 参加者147名 一般社団法人 支援の思想研究会 上田 晴男氏の講演 ・第2回研修会 「交流会」 福祉現場職員の燃えつきを防ぎ、視野を広げるために、事業所を超えた横のつながりをつくる場としたい。 障害者自立支援協議会のことを知り、今後の活動に関心を持ってもらうために、協議会の意義や今までの取組を伝えていきたい。	・第2回研修会「交流会」 11/5（土）豊岡市立市民体育館 障害者スポーツの体験を通じて、参加者の交流を行う。グループワークも行う。 自立支援協議会についての説明映像を、はっしん部会で作成する。 ・第3回研修会「対人援助技術」 1/28（土）豊岡市役所本庁舎 同志社大学・空閑教授に講師依頼予定
	「はっしん部会」について ・障害者自立支援協議会は、住民はもとより福祉関係者にも身近なものとして知られておらず、内容がうまく伝わっていない。どのようにかわれるのか伝えていく必要がある。 ・障害者自立支援協議会の情報発信をしていく必要がある。	・新しく「はっしん部会」を発足し、障害者自立支援協議会のことを情報発信していく。 様々な人の関心をひくような「発信」することで、新たな取り組みの「発進」に繋がたいという思いも含んでいる。	・はっしん部会で情報発信の活動を行う。 ・はっしん部会で、今後の協議会のあり方について、検討を行う。
	地域おこし協力隊募集の検討について	・自立支援協議会等に関する魅力的な情報発信、福祉事業所の活性化や地域課題に取り組むコーディネーター的な役割を求める。	今年度は、自立支援協議会の見直しをするため、来年度6月の募集を検討していきたい。
	相談支援体制について ・児童のセルフプランの件数が増えている。相談員が不足していて、相談員についてもらいたい。	・児童の利用者には、相談員がつき、第三者の立場からアドバイスを受けた方がいい。 ・障害者も含めて、相談体制の仕組みを検討する必要がある。 ・現在、市で委託相談のあり方の見直しを検討している。	委託相談のあり方も含めて、社会福祉課に検討を依頼する。